

問題の趣旨

国語に関する学習内容のうち、身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題です。表現の技法とその効果、複数の資料を比較して読むこと、説明的文章を読み、根拠を明確にして自分の考えを書くことなどが出題されています。

全体の正答率

* 平均正答率とは、ひとりひとりの児童生徒の正答率(全設問のうち何%の設問に正答したか)を平均したものです。

平均正答率は全国と比較して
2.1%上回っています

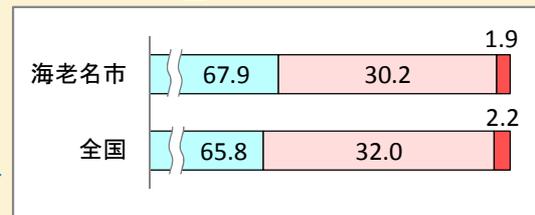
《平均正答率(%)》

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
国語B	67.9	66.5	65.8	+2.1

誤答の様子は…

《誤答の内訳(%)》

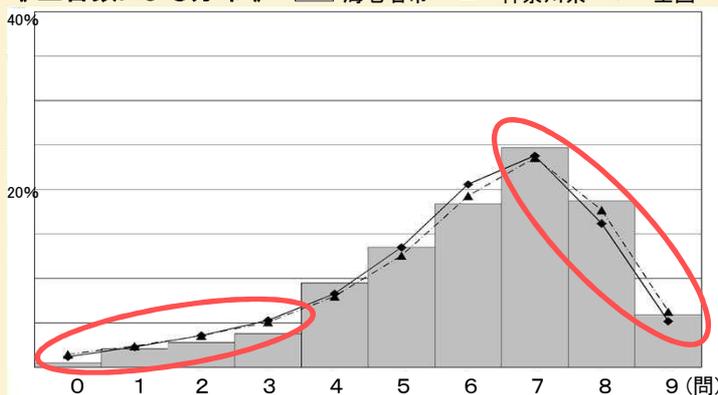
■ 正答 □ 誤答(書いたが不正解だった)
■ 無解答(何も書かなかった)



無解答率(何も書かなかった)は1.9%でした。

分布の様子は…

《正答数による分布》



全国と比較すると
正答数が7問以上の生徒が多く
0~3問の生徒が少ない
ことがわかります

* 正答率50%以下(0~4問)の生徒の割合は18.7%でした。(全国は20.7%)

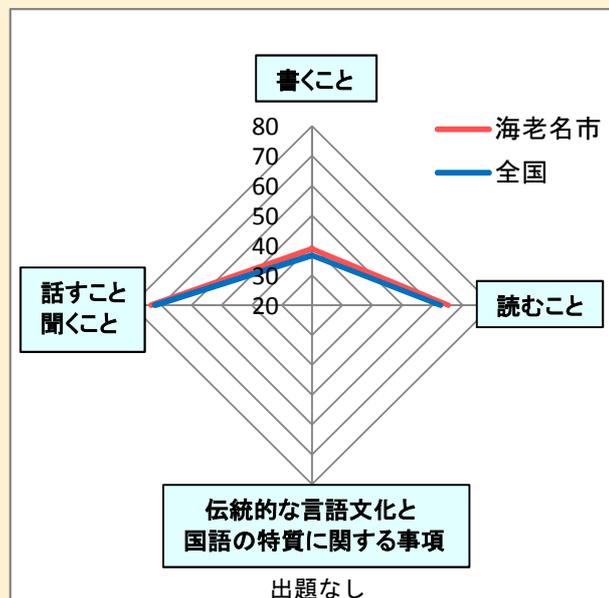
* 正答率80%以上(8~9問)の生徒の割合は24.6%でした。(全国は21.3%)

領域別の正答率

全領域において全国と比較して
やや上回っています

	海老名市	全国	全国との比較
話すこと・聞くこと	73.3	72.2	+1.1
書くこと	38.8	36.7	+2.1
読むこと	65.2	62.6	+2.6
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	この領域は今年度出題なし		

- * 「書くこと」「読むこと」については、2.0%以上上回っていました。
- * 「話すこと・聞くこと」については、約1.0%上回っていました。



内容について

* ()内は、平均正答率の全国との比較

全国を上回った設問

- 文章の構成について、自分の考えを条件にあわせて50字以上80字以内で書く。(＋4.4)
- スピーチ用のカードを見て、作成者の意図を読み取り、選ぶ。(＋3.1)
- 雑誌の記事を読み、書かれていることとして最も適切なものを選ぶ。(＋3.1)

全国を下回った設問

- スピーチ用のノートを見て、作成者の意図を読み取り、選ぶ。(－1.2)
- 資料を参考にして未来の日本の社会を予想し、どのように関わっていきたいか自分の考えを80字以上120字以内で書く。(－0.3)

国語Bで平均正答率が全国を下回った設問の例

スピーチ用のノートから作成者の意図を読み取る設問 (全国との比較-1.2)

* 「オカリナ」についてスピーチをする時に使用する【ノート】を見て

- 森田さんが【ノート】の「その他の情報」の欄に書いたことは、どのような場合に役立つことができますか。次の1から4までのうち、適切なものを二つ選びなさい。
 - 1 発表の順番を場の様子に応じて変える場合。
 - 2 聞き手から出された質問に答える場合。
 - 3 時間に余裕があるときに付け足して説明する場合。
 - 4 言葉の抑揚や強弱、間の取り方を変える場合。

正答 2、3

【ノート】

発表の流れ	その他の情報 ※ 状況に応じて使用する
■ 聞き手を見てから話し始める	
○ 始めの言葉	
1 ○ オカリナはハトの形に似た楽器。	
○ イタリアで生まれ世界に広まった。	
○ イタリア語では、「小さなガチョウ」という意味である。	※ ガチョウの頭の形に似ている、体の形に似ているなど様々な説がある。
■ 問いかけて聞かせる	
2 ○ 材質は？→ 素焼きの陶器のものが多い。	※ プラスチックのものもある。
○ 音色は？→ 吹き口から息を吹き込むと、温かみのある音色が出る。	

☆国語Bのすべての設問は、国立教育政策研究所のホームページで見ることができます。

考察

- ◆ 全国と比べて、正答数が7問以上の生徒が多く、0～3問の生徒が少ないことから、基礎的な力を生かして問題を解決する力はおおむね身につけている。
- ◆ 「読むこと」の領域については、全国に比べて平均正答率が特に高く、文章を読み取る能力について指導の成果が見られる。
- ◆ 無解答率が全国より低く、記述式の設問についても粘り強く取り組んでいるが、自分の考えを根拠を示して具体的に書くことについては課題が見られる。

平成26年度との比較

	海老名市	神奈川県	全国	全国との比較
平成26年度	51.8	51.5	51.0	+0.8
平成27年度	67.9	66.5	65.8	+2.1

- ◆ 昨年度と比べて、平均正答率がさらに上回っている。
- ◆ 特に「読むこと」の領域において、改善が見られる。

指導の改善にむけて

- ◆ 「表現する力をさらに高める」ために
 - 効果的な発表の仕方や方法を身につけ、自分の考えを発表できるように指導する。
 - ディベートやディスカッションなどを取り入れ、話し合い活動の充実を図る。
 - 国語以外の教育活動においても、自分の考えや思いを書いたり話したりする機会を増やす。